

平成 25 年度

学 校 評 価

< 記入上の留意点 >

評価 は教職員、評価 は校園長、評価 ・評価 は学校関係者評価委員の評価を記入する。

評価 は小数第一位まで記入する。評価 は4段階を基本とするが、0.5刻みまでを許容とする。、評価 はA B C Dで記入する。

学校の実態に応じて評価内容を追加して設定することができる。

評価、評価 の基準

4	十分達成できた
3	達成できた
2	取り組んでいるが、成果は十分でない
1	取組が不十分である

評価 の基準

4	よく取り組んでおり、成果が大きい
3	熱心に取り組んでおり、今後に期待できる
2	取り組んでいるが、成果は十分でない
1	取組が不十分である

評価 の基準

A	優れている
B	適切である
C	おおむね適切である
D	要改善

尼崎市立 武庫中 学校

平成25年度 学校評価

本年度は、本校では「学力向上と豊かな心の育成」を重点目標に掲げ、具体的な取り組みとして「確かな学力の向上を図る」、「元気な挨拶と正しい言葉使い」「生徒会活動・委員会を活性化し、生徒の自治活動の推進を図る」「教師が生徒とつながり、豊かな関わりを持ち健全育成に努める」「教師の授業力の向上」を設定し、その達成に向けて学校全体で努力してまいります。

学校教育に関する重点取組

1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる

評価内容	評価	具体的な取組	成果・課題	評価	改善策
(1) 授業の改善に取り組み、学力向上を推進する	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学力分析を行い、授業改善に取り組む。 ・小中交流を通じ、校種間での情報の共有を図る。(中学校にて6年生の授業を実施。小中合同研修、相互授業参観、生徒指導上の情報交換等) ・特別な支援が必要な生徒一人一人の個別計画を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力分析は詳細に行った。現在授業改善に取り組んでいる。 ・小中交流では、小中合同研修を8月に実施。中学校にて6年生の授業を9月に3日間実施。中学校教師の授業も入れ、6年生には好評であった。相互授業参観、生徒指導上の情報交換等校種間での情報の共有を図っている。 ・巡回相談を実施。アドバイスを参考に取組んでいる。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究授業の持ち方を工夫する。 ・特別支援教育については個別計画が不十分なので工夫改善して行く。 ・小中交流では、教科において情報交換を進める必要がある。
(2) 校種間の連携に取り組み、滑らかな成長を推進する	3				
(3) 特別支援教育の充実に取り組み、自立や社会参加に向けた主体性を育成する	2.5				

2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る

評価内容	評価	具体的な取組	成果・課題	評価	改善策
(1) 道徳性の涵養に取り組み、良好な人間関係づくりに努める	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・命の大切さを学ぶ向上プログラム(講演会を年4回)を実施するに当たり道徳・学活で事前・事後授業及びアンケートをとり結果分析を行い変容ぶりを計る。・全員元気な挨拶ができる。 ・校歌をしっかりと歌う。 ・校内美化の徹底。 ・道徳の時間を充実させる。 ・長欠者個々に応じた取組を行う。 ・キャリア教育を計画的に推進する。 ・教育相談週間を設け、生徒理解に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ全員元気な挨拶ができるようになった。 ・校歌をしっかりと歌うようになった。 ・掃除が行き届き校内校外、きれいになった。 ・長欠者個々に応じた取組ができた。 ・キャリア教育を計画的に推進した。 ・教育相談週間を設け、生徒理解に努めることができた。 ・命の大切さを学ぶ向上プログラム講演会を1回実施した。道徳・学活で事前・事後授業及びアンケートをとり結果分析を行い変容ぶりを計ったところプラスの変化が出ている。あと3回同手順で実施する。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・長欠者の対応については、早期対応が必要である。はつらつ学級、訪問指導員。教育相談との連携はできているが、一層の連携を図って行く必要がある。 ・キャリア教育の充実し計画する。 ・道徳の時間の確保はできたが、教材の充実が課題である。
(2) 基本的な生活習慣の確立に取り組み、問題行動の未然防止を図る	3.5				
(3) 相談体制の充実に取り組み、不適応行動への早期対応及び長期欠席の抑止・改善を図る	3.5				
(4) 進路指導の充実に取り組み、社会的自立に必要な能力を育成する	3				

3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む

評価内容	評価	具体的な取組	成果・課題	評価	改善策
(1) 食育を通じた生活改善に取り組み、望ましい生活習慣を育成する	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校だより」「保健だより」等各種たよりを通して基本的な生活習慣の定着・健康の増進の重要性を啓発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻者は各学年数名で、それ以外の生徒は8時25分には教室に入って朝学習をしている。 ・欠席者が少ない。 ・朝ご飯を必ず食べてくる生徒が9割である。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校だより」「保健だより」等各種たよりを通して基本的な生活習慣の定着・健康の増進の重要性をより一層啓発して行く。 ・食育に関する講演会を生徒向け、保護者向けに行う。
(2) 体育・スポーツ活動の充実に取り組み、体力・運動能力の向上に努める	3				

4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る

評価内容	評価	具体的な取組	成果・課題	評価	改善策
(1) 安全教育の充実に取り組み、登下校及び校内の安全確保に努める	3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日登校時に安全指導を実施する。 ・安全教育担当を中心に、防災教育(避難訓練、防災に係る講演会)を生徒向け、職員向けにそれぞれ行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で割り当てて、登下校の安全確保を行った。 ・命の大切さを学ぶ向上プログラム(講演会を年4回)の中で、気仙沼市から元校長先生を招き講演会を行い、また、職員、全校生徒、地域が参加して防災教育を学んだ。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日登校時に安全指導を全職員で行い、保護者の協力も得る。 ・生徒会中心の気仙沼市の支援を続け、防災意識をさらに高めて行く。
(2) 防災教育の充実に取り組み、危機管理能力の向上に努める	3				

5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活気に満ちた学校園づくりに取り組む

評価内容	評価	具体的な取組	成果・課題	評価	改善策
(1) 地域資源の活用に取り組み、開かれた学校園づくりに努める	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価等は、「学校だより」とホームページ及び保護者会で公開。 ・授業改善アドバイザーを積極的に活用し若手教員の授業力をつける。 ・高齢者との交流を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりを地域に配布し開かれた学校づくりに努めている。 ・若手教員を対象に自主研修を実施した。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校だより」「ホームページ」の回数を増やしたり、地域行事に積極的に参加したり、地域に開かれた学校づくりを目指す。 ・若手教員を対象とした自主研修を月1回は行いたい。
(2) 学校評価の活用に取り組み、学校運営の改善を図る	3				
(3) 教職員の資質向上に取り組み、学校の組織力向上に努める	3				

教育目標

評価内容	評価	具体的な取組	成果・課題	評価	改善策
(1)教育目標の達成に向けた充実した教育活動の展開	3	生徒朝礼時、全校生徒、教職員で校歌を歌い 母校愛を醸成する。 ・全員元気な挨拶ができるよう啓発。 ・生徒の自治活動の推進を図る。	・生徒朝礼時の校歌斉唱ができた。 ・気持ちの良いあいさつが励行され、定着した。 ・生徒会を中心に毎月募金活動を継続。 気仙沼市との交流をしている。 ・クラブ員による自主清掃を継続中。	3	・教育目標(健康、協調、思案)が日々の教育活動に反映しているかを意識し教育実践を行っていく。
(2)教育目標の具現化と指導の充実	3				

研究テーマ

評価内容	評価	具体的な取組	成果・課題	評価	改善策
(1)研究テーマの達成に向けた充実した教育活動の展開	3	・学力分析を行い、わかる授業づくりに取り組む。 ・心の豊かな生徒の育成をテーマの柱に掲げ、命の大切さを学ぶ向上プログラム(講演会を年4回)を実施。事前・事後授業を道徳・学活で行いアンケートをとり結果分析を行い変容ぶりを計る。	・学力分析を行い、何が足りないかを知ることができ、わかる授業づくりに取り組んでいる。 ・学力向上に向けて、土曜チャレンジと平日放課後2回の補充学習を行っている。	3	・武庫中学校の生徒が今後身につけていかなければならない学力は何かを共通認識し、研究推進を中心に学力向上プログラムを計画して行く。
(2)研究テーマの具現化と指導の充実	3				

--

評価内容	評価	具体的な取組	成果・課題	評価	改善策